

●今月号の元気な話題●

- * 「三陸塩竈ひがしもの」の販売開始式が開催されました！
【水産漁港部】・・・1
- * 「地域資源の活用による他地域との差別化」観光セミナーを開催！
【地方振興部】・・・2
- * NPO法人SCRが「山のがっこう2017」を開催しました。
【林業振興部】・・・2
- * 亘理町の4Hクラブ員が青森県でにんにく栽培を研修しました。
【農業振興部（亘理農業改良普及センター）】・・・3
- * 「水の恵みカード」を発行しました！【農業農村整備部】・・・3
- * 第11回全国和牛能力共進会宮城大会で「仙台・松島エリアPRブース」を出展！【地方振興部】・・・4
- * 県育成りんご「サワールージュ」の果実販売イベントが開催されました
【農業振興部】・・・4

みやぎ水産の日 今月のおすすめは…

【サンマ】

定番の塩焼きはもちろん、
刺身や寿司など、生で食べても
絶品です！



「三陸塩竈ひがしもの」の販売開始式が開催されました！

【水産漁港部】

塩 竈市水産振興協議会が主体となってブランド化を進めている「三陸塩竈ひがしもの」の販売開始式が9月14日に塩竈市魚市場で行われました。

「三陸塩竈ひがしもの」とは、塩竈市魚市場の水揚げの主力である生の「メバチマグロ」のうち、漁場や漁法、漁獲期間等の明確な要件を満たした「メバチマグロ」で、平成18年9月に商標登録され、今年で13回目の出荷を迎えました。

販売開始式では、まぐろ延縄船5隻により水揚げされた152本のメバチマグロのうち、「三陸塩竈ひがしもの」として認定された14本が関係者に見送られながら築地市場や仙台中央卸売市場等に出荷されました。

式典終了後には、水揚げされたばかりのメバチマグロを、地元の寿司店店主らが握り寿司にして出席者に振る舞い、開始式に招待を受けた塩竈市立第三中学校の生徒達は美味しいと満面の笑みを浮かべていました。「三陸塩竈ひがしもの」は12月まで出荷され、塩竈仲卸市場内の認定業者店舗などで販売されます。



第1便の見送りの様子



解体展示されたメバチマグロ

少子高齢化や人口減少等による地域の衰退が課題となっている近年、観光振興による交流人口の拡大によって地域を活性化しようという取組が各地で行われています。

地方振興部では、9月26日、宮城県庁みやぎ広報室を会場として、観光振興に関わる方（商工・観光関係者、地域づくり関係者、市町村担当者など）を対象に観光セミナーを開催しました。

セミナーでは、「地域資源の活用による他地域との差別化」をテーマとして、一般社団法人気仙沼地域戦略の理事長である菅原昭彦様から事例発表をいただきました。観光は「商品」「人」「しくみ」をすることが大切であること、地元では当たり前の事でも観光客の目線では、そこでしか体験出来ない観光資源になること、稼ぐ観光をする事が地域の持続的な発展や活性化に繋がることなど、より効果的に地域資源を活用するノウハウを学ぶことが出来ました。



事例発表の様子

NPO法人SCRが「山のがっこう2017」を開催しました。

【林業振興部】

主に富谷市内で子ども達や地域の人々と「自然をつなぐ」イベント活動を行っているNPO法人SCRが、8月11日の山の日に富谷市の大亀山公園において、森林・林業等の体験交流会を開催しました。

この交流会は、山の日が制定された平成28年から実施されており、今回が2回目となります。また今回は、昔の林業作業で行われていた「馬搬」の見学も実施されました。

当日は富谷市近郊から22家族、約40名の参加があり、アジサイの植栽や馬搬を含む間伐作業の見学、やまびこ大会などが実施され、大いに賑わいました。

主催したNPO法人SCRは、これらのイベントの他に、園児などと間伐材で積み木をつくる「つみ木プロジェクト」や富谷市と取り組む「はちみつプロジェクト」等を通じて「木育」・「食育」活動を県内各地で実施しています。

連絡先：NPO法人SCR：<http://scrsr2012.wixsite.com/scr2012>



山のがっこう2017が開催されました



アジサイの植栽



馬搬の見学



いつも元気なSCRの皆様

亶理町の4 Hクラブ員が青森県でにんにく栽培を研修しました。

【農業振興部（亶理農業改良普及センター）】

9月27日と28日に、被災地で営農に取り組む若手農業者5名が、新たな品目の栽培技術を学ぶために、青森県でにんにく栽培の研修を行いました。

青森県産業技術センター野菜研究所では、にんにくの植え付け時の病害虫防除や収穫後の乾燥調製について学ぶとともに、同センター農産物加工研究所では、黒にんにくなどを加工する方法や機器の見学等を行いました。

また、青森県三八地域農業普及振興室では、にんにくを栽培する際のポイントについて説明を受け、実際に栽培しているほ場を見学し、植え付け作業などを学びました。

他産業から転身し、被災地の山元町で農業を始めた内藤さんは、にんにく栽培に取り組んで4年目になりますが、「研修に参加して、貴重な情報をたくさん得られた。今後高品質なにんにく栽培に向けて更に一生懸命取り組みたい」と、にんにく栽培への熱意を高めていました。



にんにく調整施設を見学する4 Hクラブ員

「水の恵みカード」を発行しました！

【農業農村整備部】

農林水産省では平成28年度より、地域の農作物と関係する農業水利施設を一体的にPRする「水の恵みカード」の作成に取り組み始め、このたび宮城県においても「水の恵みカード」を作成し、この10月に5種類のカードを発行しました。

当事務所は5種類のカードのうち、「井土地区のねぎと二郷堀排水機場」のカード作成を担当し、井土地区のねぎとその安定的な生産を支える二郷堀排水機場のPRを行っております。

また県では「水の恵みカード」以外にも、県独自のカードである「水土里の恵みカード」も3種類作成しており、農産物とそれらを生産しやすいよう実施されている農地整備事業などをカードで分かりやすく紹介しています。



カードについては、各事務所や農産物がとれる地区の直売所において配布される予定ですので、この機会にぜひ集めてみてはいかがでしょうか。

【参考】「水の恵みカード」・「水土里の恵みカード」について（県農村振興課HP）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/mizunomegumi-midorinomegumi1016.html>

水の恵みカード「井土地区のねぎと二郷堀排水機場」

9月7日～11日に夢メッセみやぎを会場に開催された、「第11回全国和牛能力共進会宮城大会」の会場に、「仙台・松島エリアPRブース」を出展しました。ブース内では、管内各市町村の「観光案内映像の放映」や「パンフレットの配架」、「仙台管内ご当地クイズラリー」等を実施しました。特にご当地クイズラリーは好評で、512名と県内外から、多くの来場者の方にお楽しみいただきました。



第11回全国和牛能力共進会宮城大会会場の様子

県育成りんご「サワールージュ」の果実販売イベントが開催されました 【農業振興部】

「サワールージュ」は、平成23年3月に品種登録された宮城県初のりんご品種で、9月下旬～10月上旬頃に収穫され、鮮やかな赤色に着色し、酸味が強いという特徴があります。アップルパイやタルト等のスイーツ、料理のつけ合わせ等に適しているほか、酸味の好きな方には生果で食べてもおいしい品種で、管内では仙台市や大郷町を中心に約15a栽培されています。

10月1日に仙台市太白区の秋保ワイナリーで、家庭での加工りんごの利用促進を図るため、県農産園芸環境課主催で「サワールージュ」の果実販売イベントが開催されました。当日は、根白石果樹生産組合(仙台市泉区)の生産者による果実販売のほか、角田市の生産者による梨の販売も行われました。また、秋保ワイナリーの呼びかけにより、市内の様々な飲食店も出店し、多数の来客者で賑わいました。

「サワールージュ」を試食した来客者からは、「酸味があっておいしい」、「さわやかな味がする」、「酸味があって加工に向いている」といった高い評価の声が聞かれ、用意した「サワールージュ」約50kgは完売しました。

「サワールージュ」は、作付けが開始されてから収量が増加してきており、今後直売所や飲食店等での取り扱いの増加が期待されます。



収穫期のサワールージュ



販売イベントの様子

問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部（白石）

TEL：022-275-9140 FAX：022-275-0296 E-Mail：sdsinbk2@pref.miyagi.lg.jp

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>

※次号は平成29年12月下旬発行予定です。